

“皆さまの声”は、横浜市議員  
**望月高德** が承ります!

■ 望月こうとく 政務活動事務所

〒224-0003 都筑区中川中央 1-24-17-201  
(市営地下鉄センター北駅1番口よりノースポルト側すぐ)

TEL&FAX: 045-532-9089  
E-mail: info@khotoku.net  
http://www.khotoku.net/



【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員〔都筑区選出〕望月高德(もちづきこうとく)。  
静岡県出身。1989年4月より横浜市在住。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。(株)野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、2011年4月より現職〔3期目〕。

2020年度担当委員会は、水道・交通  
常任委員会、減災対策推進特別委  
員会、市会運営委員会(副委員長)。  
立憲・国民フォーラム市会議員団所  
属(副団長)。

政治を志した原点は、学生時代の  
新聞奨学生体験。

政治信条は、公正・共生・寛容。



キリトリ ✂

“皆さまの声”を気軽にお寄せください。ご記入日/2020年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えてください。  
ご意見は、上記FAX番号へ送信または上記住所へご郵送くださるようお願いいたします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(ふりがな)	年齢	性別
ご記入者 氏名	歳	男・女
ご記入者 住所		
ご連絡先 電話番号	( )	Email @

※以上の項目は、すべて任意です。可能な項目のみご記入をお願いいたします。 ※お寄せいただいた個人情報、適正に管理いたします。  
※ご連絡先のご記入がある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をさせていただきます。

もちづき

望月こうとく 市政  
レポート

みんなの声の広場

第37号

2020年7月25日  
発行



http://www.khotoku.net/ TEL: 045-532-9089  
E-mail: info@khotoku.net

# 市民の健康と命そして暮らし を守る施策を最優先で!!

今回のレポートでは、令和2年第2回定例会の最終日に、望月が会派を代表し本会議で登壇し行った討論の様  
様や、定例会に続き7月9日に開催された特別委員会のことなどをお伝えします。

討論とは、議案や請願への賛否を正式に表明する議決前に、賛成や反対の理由を述べる場です。今回、私は補  
正予算案に賛成、カジノIR事業計画の見直しとカジノ誘致関連事業予算の組みかえ等を求める請願の不採択に  
反対の立場から討論を行いました。

Topic **会派を代表し第2回定例会最終日に討論で登壇  
新型コロナ対策の拡充とカジノ型IRの事業計画の見直し等  
を求める市民の声を代弁!**



〔7月7日本会議で討論に立つ〕

令和2年第2回定例会が、6月23日より7月7日まで開か  
れました。今回の定例会で最も重要な審議案件は、新型  
コロナウイルス対策のために組まれた79事業、総額約  
187億円からなる補正予算案です。

当局は、この予算で「市民と医療を守る」、「横浜経済  
と市民生活を守る」、「新たな日常に取り組む」を3本の柱  
として新型コロナ禍での「くらし・経済対策」に取り組ん  
でいくとしていました。一部具体例を挙げると、PCR検査  
体制の拡充やクラスター対策新規事業創設、災害避難  
所等での感染症対策の備品備蓄事業などもあります。

**市民の健康と命そして暮らしを守ることを第一とし、**

キリトリ ✂

早め早めに本市として取り組むべき「新型コロナ感染拡大防止策の実施と医療提供体制の整備」や「市民生活、企業・事業者・団体の活動への支援」を実施するための予算を計上し事業を実施する必要性を強く感じていた私は、令和2年度当初予算が議論されていた第1回定例会から、当初予算には新型コロナ対策に特化した予算が含まれていなかったため、**新型コロナ対策最優先で早期かつ大規模な補正予算の編成と実施を市長に対し求めてきた**ことは前回のレポートで、ご報告の通りです。

5月の補正予算措置そして今回、提案された追加の補正予算案は、まさに求めてきたことであり一部、費用対効果面や公平性の面その他から評価すると疑問符が付く事業もありましたが、全体として評価し、**多くの重要な事業が含まれていた**ので賛成しました。

もちろん、これで充分というわけではありません。ここまで市がとってきた新型コロナ対策は、改善や拡充あるいは新設すべきことも多くあります。討論の際は、ただ賛成するのではなく、しっかり課題点や改善、充実させるべき点を市長に伝えての賛成討論となりました。

### 拡充や改善すべき対策は山積み。危機感を持って臨むべし!

「予算執行は、必要な事業が確実に適宜行われるようにすること。市民一人当たり10万円の特別定額給付金・給付事業のような遅滞がないように。」

「PCR検査は、必要な場合でも受けられないことや、検査以前に帰国者・接触者相談センターに電話をしてもつながらないのは論外。早急に体制を強化すること。」

「クラスター対策は、病院や高齢者介護施設はもちろん、クラスターが発生しやすいと考えられる特定の業種・業態への積極的な対策も図ること。あわせて市内の事業者・企業の感染防止への啓発や働きかけを一層強め、クラスター対策に止まらない、市民の安心安全につながる感染拡大防止の取り組みの底上げを図ること。」

以上は、市長に対して指摘し対応を促した課題点や改善点の一部です。検査や医療体制の整備強化の面以外でも、市内経済と市民生活を守っていくために取り組むべきこと、拡充あるいは新設していくべき取り組みが

多数あります。

今、東京都を中心とする首都圏では感染再燃が起こっています。いや再燃という以上の大きな波ともいえます。**医療分野にせよ市民や事業者に対する経済支援にせよ、市民の健康と命や暮らしを守るためならば、国や県に大胆にモノを言い、コロナ禍では見直すべき事業や急ぐ必要がない事業は勇気をもって見直し、予算や人員を捻出し新型コロナに備え、その対策に注力していくことを強く求めました。**

### コロナ禍でカジノ型IRを事業推進するとはどういうことか!!

林市長がカジノ型IRを推進したがつていること、一方、望月は中長期的な視点でとらえた時の都市経営の危うさの点や、そもそもギャンブル収益に期待する市政運営に反対との立場から、IRを導入すべきではないと考えていることは、繰り返しお伝えしてきました。

今年に入り新型コロナの感染拡大が起こり18区中、都筑を含む6区で未実施だった市民説明会に代わり動画配信を行うことを、6月に市長が表明しました。これに対し市民から「カジノIR事業計画の見直しとカジノ誘致関連事業予算の組みかえ等を求める請願」が提出されました。

本会議での最終的な議決前に、当請願の不採択に反対の立場から、その理由を討論しました。

### いま取り組むべきは、カジノより新型コロナ対策

本年に入り世界的な新型コロナ感染症の蔓延が起こり、いまだ収束が見通せない状況となり、日本だけでなく世界経済の落ち込みが懸念され、先行きが見通せない中、不要、不急、不確かなIR事業を、コロナ禍前の経済・社会条件で推進しようとするのは、まったくおかしな話です。**IRへの賛否を別にしても、コロナなどないかのように、これまで通り計画を進めようとする市長、それも市民に対しては、一方的な宣伝広報に過ぎない動画配信で事足りると考える市長は、間違っています。**

そのおかしさを指摘し、IR事業計画の見直しと誘致関連事業予算の組みかえ等を求めた請願でしたが、結

果は、自民党、公明党の多数によって不採択という大変残念な結果に終わりました。

カジノ型IRの推進は、将来世代も含めて横浜のためになりません。ましてやコロナ禍の中では、まずは対策を徹底し、市民の健康や命そして暮らしを守ることを最優先に市政を進めるべきです。このことを引き続き、市長に強く求めていきます!

令和2年第2回定例会・討論の様子は、市会HPのインターネット録画中継でご覧いただくことができます。



### 請願と陳情

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市会に提出することができます。請願書を提出するときは、1名以上の市会議員の紹介を必要とします。陳情書は、市会議員の紹介は必要ありません。

請願は、必ず常任委員会などに付託され審査した上で、本会議で「採択」か「不採択」かを決定し、その結果を請願者へ通知します。陳情は、内容により常任委員会などに付託される場合と、付託はされず市長部局からの回答のみを陳情者に通知する場合に分かれます。

いずれも古めかしい用語ですが、市民の声を市政に反映させる大事な手段の一つです。

## 第2回定例会の委員会議論から

### 風水害に備える!

### ～ 減災対策推進特別委員会の議論開始 ～

5月から所属替えになった特別委員会は、「**減災対策推進特別委員会**」となります。**私が議会に送り出していただけで以来、市民の健康や命、暮らしを守るのが政治の第一の使命との信念の下、力を注いで来た政策分野の一つが、災害・減災対策の推進です。**

特別委員会は、年度ごとにテーマを設定し本市が取り組むべき課題を議論していきます。本年度の当委員会では、近年、顕著になったゲリラ豪雨や記録的な大雨あるいは台風などによる浸水や洪水被害を最小化するための取り組みが議論されます。特に、いかに逃げ遅れゼロにするか、そのための避難のあり方や避難

所の課題について検討される予定です。新型コロナ感染症のこともあります。そうした点も考慮しながら、いつ起こるか分からない風水害に備える有意義な議論を目指します。

水害を減らしていくには適切な河川管理は必須。早淵川沿いの定期的な浚渫(しゅんせつ)等を行い適切な整備を実施することを、河川管理者である県などの関係機関に強く働きかけ、早期の改善に努めることを区や道路局〔本市では河川担当は道路局〕に、この5年来求めてきたことは、当レポートでお伝えしたことがあります。



〔センター橋から上流に向かって撮影〕

## 市庁舎が移転しました

本年の6月より、それまで関内駅すぐ近くにあった旧市庁舎が、みなとみらい線・馬車道駅に直結する現在地〔中区本町6-50-10 桜木町駅からは徒歩約3分〕に移転しました。

市庁舎建て替え議論の際は、建設費が高額である点や河川沿いに位置し災害リスクへの懸念もある点などを問題ととらえ、望月は現市庁舎への移転計画に反対した経緯があります。しかし議会で議決を経て移転が決まり、今日の新市庁舎建設完了・使用開始となりました。利用開始されたからには、大いに活用し市民の利益に供しなければいけません。又、市民により身近な存在として受け止められ、活用されればとも思います。

議会傍聴の点では、本会議場は親子室が設置され全体の座席数も増設しました。これまでスペースの問題で傍聴できなかった委員会審議も傍聴可能となるなど、環境は改善されました。いま新型コロナの問題がありますので現時点では積極的に勧めがたいところではありますが、落ち着きましたら是非、傍聴や見学にお越しください。**事前連絡を頂ければ望月がご案内することも可能です。**



〔市会議事堂前にて〕

傍聴に関するお問い合わせは  
TEL.045-671-3040〔議会局・担当〕